

ドイツ語（初級B） 第20回 疑問代名詞2つ、現在分詞と過去分詞の形容詞用法

範囲：教科書 S. 41-42、S. 45-46（CDトラック 58-59）

《今回の基本例文》

55. Sie sieht mich lächelnd an. (CD58-2)

彼女は微笑んで私を見つめている。

[現在分詞の副詞的用法、(分離動詞)]

56. Ein Reisender in diesem Zug hat keine Fahrkarte. (CD58-4)

この電車の乗客のうち一人、切符を持っていない者がいる。

[現在分詞の名詞化用法 (混合変化)]

57. Sie erzählt von längst vergangenen Tagen. (CD59-2)

彼女はとうに過ぎ去った日々のことを物語っている。

[過去分詞 (強変化)、過去分詞 (非分離動詞)、過去分詞の付加語的用法 (強変化)]

58. Sind Sie ledig, verheiratet oder geschieden? (CD59-3)

あなたは独身ですか、結婚されていますか、それとも離婚経験がおありですか？

[過去分詞 (弱変化)、過去分詞 (非分離動詞)、過去分詞 (強変化)、過去分詞の述語的用法]

教科書第10課 C. 疑問代名詞 *welcher* と *was für ein* (S. 42)

教科書1 *welcher*

◇ *welcher* は文法的には疑問代名詞で、すでに提示されているいくつかの選択肢から「どの～、どちらの～」と選ばせる際に用いる（英語における *which* に相当）。

◇ 格変化は定冠詞類。 (⇒教科書 S. 19)

	男性	女性	中性	複数
1格	welcher	welche	welches	welche
2格	welches	welcher	welches	welcher
3格	welchem	welcher	welchem	welchen
4格	welchen	welche	welches	welche

教科書2 *was für ein*

◇ *was für ein* も疑問代名詞で、*welcher* とは異なり、選択肢が提示されていないとき、「どのような～」を答えさせる際に用いる（英語における *what kind of* に相当）。

◇ 格変化は不定冠詞 *ein* に準じる。ただし、複数形の不定冠詞はないので、複数形の場合は無冠詞の *was für* となる。

	男性	女性	中性	複数
1 格	was für ein	was für eine	was für ein	was für
2 格	(was für eines)	(was für einer)	(was für eines)	(was für)
3 格	was für einem	was für einer	was für einem	was für
4 格	was für einen	was für eine	was für ein	was für

◇ was für ein の für からは 4 格支配の前置詞としての役割は消えており、修飾する名詞に応じて格変化する。上記の変化表も参照。

(例) bei was für einer Firma どんな会社で

.....
補足練習問題

() 内の疑問詞はすべて男性単数 1 格になっている。適当なかたちに直し、日本語に訳せ。

1. (Welcher) Zimmer nimmst du?
2. (Welcher) Mann meinst du?
3. (Welcher) der beiden Bücher ist interessant?
4. Mit (welcher) Zug kommen Sie?
5. In (welcher) Stadt soll ich wohnen?
6. (Was für ein) Wagen fahren Sie?
7. (Was für ein) Gericht isst du gern?
8. (Was für ein) Blumen kaufen Sie der Frau?
9. Mit (was für ein) Feder schreiben Sie?
10. In (was für ein) Welt leben wir?

.....
教科書第 10 課 B. 現在分詞の用法 (S. 41)

〈現在分詞について〉 (補足)

◇ ドイツ語にも英語と同じく 現在分詞が存在し、不定詞+dによってつくられる。次の 2 つのみは例外。

- sein → **seiend**
- tun → **tuend**

◇ ドイツ語には進行形 (現在進行形、過去進行形など) がないため、英語とは用法が異なり、ほぼ「～している」という 継続中の動作を表す形容詞としてのみ使用される。

◇ 基本的に形容詞なので、授業第 17 回で学んだのと同じく、述語的用法、付加語的用法、副詞的用法、名詞化用法のすべての用法が存在する。付加語的用法や名詞化用法については、性数格変化も形容詞とまったく同じとなる。

◇ 述語的用法は、完全に形容詞化したもの (=辞書に形容詞として掲載されているもの) しか成立しない。英語の進行形のつもりで、sein+現在分詞を使ってはならない。英語の現在進行形に相当するのは単なる現在形である。

(例) ○ Das Mädchen ist reizend. その女の子は魅力的である。

× Das Mädchen ist laufend.

→ ○ Das Mädchen läuft. その女の子は走っている。

* 確かに laufend という形容詞も存在するが、「(通貨などが) 流通している、稼働している、現在進行中の」などの意味である。

教科書第 11 課 B. 過去分詞の用法 (S. 45)

〈過去分詞の形容詞としての用法について〉 (補足)

◇ 過去分詞も、現在分詞と同じく、形容詞としての用法を持つ。

◇ 形容詞なので、授業第 17 回で学んだのと同じく、述語的用法、付加語的用法、副詞的用法、名詞化用法のすべての用法が存在する。付加語的用法や名詞化用法については、性数格変化も形容詞とまったく同じとなる。

◇ 形容詞としての過去分詞の意味は、

・ 他動詞の過去分詞: 「～された」という受動の意味 (英語と同じ)。

(・ haben 支配の自動詞の過去分詞: 付加語的用法が存在しない。)

・ sein 支配の自動詞の過去分詞: 「～した」という能動の完了の意味。

* sein 支配と haben 支配については、教科書 S. 49 および授業第 19 回を参照。

◇ 「～された」という受動の意味になる他動詞の過去分詞については英語と同じなので、「～した」という能動の完了の意味になる sein 支配の自動詞の過去分詞を押さえればよい。

・ 教科書 S. 45 の例 die angekommenen Gäste は、場所の移動を表す自動詞 an|kommen (到着する) が sein 支配なので、その過去分詞 angekommen は「到着した」という能動の完了の意味になる。

(参考) Die Gäste sind angekommen. その客たちが到着した。

・ 教科書 S. 45 の例文 Sie verlässt verzweifelt das Haus. は、状態の変化を表す自動詞 verzweifeln (絶望する) が sein 支配なので、その過去分詞 verzweifelt は「絶望した」という能動の完了の意味になる。なお、この文の verzweifelt は副詞用法。

(参考) Sie ist verzweifelt. 彼女は絶望した。

◇ 述語的用法 (教科書 S. 45 の c)) は、現在分詞と同じく、完全に形容詞化した過去分詞 (=辞書に形容詞として掲載されているもの) に対してしか成立しない。完全に形容詞化しているわけではない過去分詞と sein とともに使用すると、状態受動の意味になる。

* 英語の受動態は必ず be+過去分詞であるのに対し、ドイツ語の基本的な受動態 (～される) は werden+過去分詞で、sein+過去分詞は状態受動 (「～されている」)

の意味になる。これについては教科書第14課で詳しく扱うので、いまの段階では頭の片隅に置いておけばよい。（⇒教科書 S. 57）

教科書 Übung1 （S. 46、CDトラック 59）

2. 状態の変化を表す自動詞 **vergehen**（過ぎ去る、消滅する）は **sein** 支配であり、その過去分詞 **vergangen** は「過ぎ去った」という能動の完了の意味になる。また、**von et³. erzählen** で「et³.について物語る」。ゆえに **von längst ___ Tagen** の空欄部分は複数3格に相当する。

連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 教員のウェブサイト：<http://hhasegawa.la.coocan.jp/>

授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：<http://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>